

## 株式会社リプロール

2010年に創業し、その年の7月から札幌市産業振興センターのインキュベーション施設「スタートアップ・プロジェクトルーム」(以下SPR)に入居し、卒業した現在も北海道のげんき企業として活躍を続ける山口社長に起業のきっかけからSPRの活用、そして現在に至るまでお話を伺いました。



リプロールは「中小企業・一次産業をもっと元気にしたい」という想いから始め、2017年で創業8年を迎える。

お客様が抱える問題や悩みに対し「Re：応え」、「Realize：実現し」、「Professional：専門家として」、「Produce：創り出し」、そして「All：全て」においてお客様のワンストップパートナーを目指す。

Q 起業の動機について教えてください。

A 父親が以前会社経営をしていたこともあり、「将来は経営者の力になりたい」と高校時代から漠然とした起業の目標がありました。専門学校で会計を専攻し、社会人になってからますます起業したい想いが強くなり、25歳で起業に至りました。



Q SPRに入居するきっかけを教えてください。

A 創業前に創業セミナーの受講や、自身で創業に関して知識を深めていた時に、SPRの存在を知り、創業から3ヶ月後にSPRに入居しました。

Q 入居した部屋の印象はどうでしたか？

A 創業3年はCルームを活用し、その後はBルームへ移転しました。Cルームは1人～2人でちょうど良いサイズ感です。賃料も低く、少人数で創業の際には適しています。また、Bルームは事務所内に打合せスペースを設けても、3人～4人程度でも仕事ができるので、いずれも創業時の人数によって対応可能な良い環境です。

Q 事業を成長させるために工夫した事を教えてください。

A 私は25歳で起業をしました。経験値もまだまだ低かったため、若さ故のバイタリティが創業時の強みでした。もちろん現在でも経営者の中では若い方です。誰よりも積極的にとにかく行動する事を心がけています。それは、現在展開する台湾事業にも繋がっています。せっかくリスクを背負って創業したからには、すべての瞬間が勝負であり、絶対に諦めない気持ちと、創業の信念を常に持ち続けている事が大事であると考えます。まだまだ当社も成長の道半ばですので、これからも着実に事業展開をします。

Q 入居中何か印象に残ったことはありますか？

A 不定期に開催されるセミナー、定期的に行われていた創業相談です。自分で会社経営を行うと時に客観的な視点が必要な時があります。そんな時にはとても役立ちました。また、融資を受ける際にも「SPR=インキュベーション」という認知度も高く、金融機関からの信頼も得られたのではと考えます。また、創業間もない企業がSPRには集いますので、業種は違えど、同じような悩みを持つ仲間と切磋琢磨するのも良い刺激になりました。

Q 役立った公的支援制度について教えてください。

A 創業3年目までが応募可能な、さっぽろベンチャー支援事業を活用して商標登録などの知的財産の保護。また、台湾に市場調査へ行くきっかけができました。



Q 今後の抱負について

A 2017年で当社は創業して8年目を迎えます。創業時からの積極性をこれからも忘れず、信念をしっかりと持ち続け、成長し続けられる永続出来る企業作りを目指します。顧客、従業員、取引先などのすべてのステークホルダーが居るから当社の今が有る、という事を決して忘れず、北海道、日本国内はもちろんの事、海外展開にも積極的に取り組みます。

SPRへの入居を検討されている方にメッセージをいただきました。

創業時は特に資金繰りが大変であり、自己資金にも限界が有り、創業時から上手に金融機関と付き合うのもとても重要な事です。いわゆる対外的な信頼を得る為には、このSPRというのは非常に大きな役割を担ってくれます。それだけではなく、会社経営のノウハウが例え乏しくても、無料で専門家に相談出来る制度や、創業補助金などのメニューも有る為、自分の頑張り次第ではとても有効に活用できます。今振り返ると、私はこのSPRに入居して本当に良かったと思います。経営者は孤独ですが、ここには同じ志を抱く多くの仲間が居る事もSPRの良いところだと思いますので、皆さんの経営戦略の中の一つとして事務所機能は、このSPRの活用を強くお勧めします。

山口社長、ありがとうございました。

## 株式会社リプロール

代表取締役 山口 祐輔

〒003-0002

北海道札幌市白石区東札幌2条5丁目2-1

山忠ビル2F

TEL 011-815-8255 FAX 050-3737-4533

URL <http://reproall.com/>

